

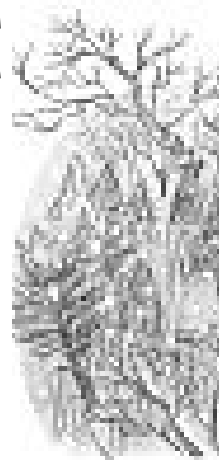


NO.899

2012, 12, 23

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
電話三二四四五八
F 四三二四四五七



総選挙の結果について

日本共産党網走市委員会

菅原候補 1498票 比例 1324票

16日投開票の総選挙において、日本共産党は1議席減らし8議席の獲得にとどまりました。

長年通続してきた古い政治（財界中心、アメリカ言いなり）が行き詰まる下で、日本共産党は議席倍増を目指して奮闘しましたが、みなさんの期待にこたえることができませんでした。その最大の理由は党の「自力」が不足していたことだと痛感しています。

この選挙の投票率は、59・32%で前回を7・96ポイント下回り、戦後最低となりましたが、網走でも16・08ポイント下回りました。その中で、網走市党の比例選挙の得票は1324票で前回よりも195票減らすという厳しい結果となりました。

ただ、得票率でみると前回の6・36%から7・24%へ0・88ポイント増ということで、網走市のみなさんの日本共産党への期待が、大きく後退したわけではないと確信もしているところです。

さてこの選挙の結果は自公両党が320を超える議席を獲得し、自公政権が復活することになりました。

しかし、この政権は選挙期間中大増税後、暮らしたり経済がどうなるのか、原発問題をどう解決していくのか、TPPや沖縄の基地問題をどう解決するのか、等々、具体的にんぼうを語ってきませんでした。

これらの問題をどんな政府になろうとも、解決していく力になるのは、これからの国民の戦いです。

私たち日本共産党は皆さんと草の根から固く連帯し選挙で掲げた公約の実現目指し、全力をそそいでいく決意です。

雪と寒さの中、ご支援をいただいた皆さんに心からお礼を申し上げるとともに、来年7月の参議院選挙にさらなるご支援をお寄せくださることに、合わせて「しんぶん赤旗」の購読、後援会で活動していただく、入党してともにたたかうことなど、強大な党を作るために、お力添えを下さることを心から訴えるものです。



流水

選挙後テレビで街頭インタビューする場面が映し出されてきた。その中で30代と申しき女性が「私の周りでは民主党はダメというだけではなく、民主党を批判する人がいっぱいいたのに、（自民党絶対多数）、この結果はどうにも納得できません」と答えていた。網走でもそう思っている人が結構いるのではないかと思う。本当に、どうして？▼それにはカラクリがある！北海道で見ると、自民党の小選挙区の得票率は40・4%。投票した人の4割しか自民党に投票していないのに、議席の占有率はなんと、91・7%、公明党に投票した3・4%を除いて実に56・6%の投票が「死に票」になっていた。これが「小選挙区」というカラクリであり、最大の害悪。比例選ではぜんかいかいせんきよで大敗したじみんとうの獲得議席は55で、今回は57、わずか2議席しかふえていない。これが正確な民意である。▼1996年の総選挙から導入された小選挙区制というのは生まれた時から「4割の得票で8割の議席」と批判が多かった。いまでは政治家の質がおちる、「当選が」最大の目標で、政党を渡り歩く輩が増えるなど、批判が多い。ちなみに今回の選挙結果は自民党が40・3%の得票率で79%の議席▼一方、民主党は小選挙区はそのままして、民意を正しく反映する比例の議席を80も減らすと主張、自民党にとりあえず40減らせと要求、約束させて解散。どうする自民党？▼「身を削る」と言うなら「政党助成金」もらうのをやめろ！（〇）